

平成28年産水稻うるち米の品種別作付動向について（速報）

当機構では、米の生産にかかる基礎的な資料として、水稻うるち米の品種別作付割合について推計のうえ公表しています。

【推計方法】

- 平成28年産水稻うるち米の品種別作付割合は、平成27年産米における道府県毎の品種別作付割合を基に、平成27年産用種子供給量及び平成28年産用種子供給量を勘案して推計しています。

【結果概要】

- 平成28年産水稻うるち米（醸造用米、もち米を除く）について、全国で最も作付が多い品種は「コシヒカリ」、以下「ひとめぼれ」、「ヒノヒカリ」、「あきたこまち」、「ななつぼし」で上位9品種は前年産と同順位でした。10位に「ゆめぴりか」がランクインしました。
- 上位10品種のうち作付割合が前年産より減少したのは「コシヒカリ」、「ひとめぼれ」等6品種となりました。
- 11位以下20位までについては、8品種に前年産と比べて順位の変動がありました。
- 上位10品種がうるち米作付面積全体に占める割合は74.7%（前年産確定値（以下同じ）75.9%）上位20品種では83.3%（同84.8%）でした。
- 水稻の作付面積全体に占めるうるち米の割合は95.0%（同95.2%）でした。
- BL、SL等の品種については、以下のとおり整理して集約しています。

品種名		集約した品種名
コシヒカリ新潟BL	⇒	コシヒカリ
あいちのかおりSBL	⇒	あいちのかおり
ハツシモ岐阜SL	⇒	ハツシモ
ササニシキBL	⇒	ササニシキ
コシヒカリ富山BL	⇒	コシヒカリ

（注） 来年3月公表予定の「平成28年産水稻の品種別作付動向」（確定版）においては、順位、作付割合等が変動する場合があります。

本件に関するお問い合わせ先
 〒103-0001
 東京都中央区日本橋小伝馬町15-15
 公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部
 TEL03-4334-2161 担当：小野塚 藤原

平成28年産うるち米の品種別作付割合上位20品種（速報）

（単位：％）

順位	品種名	作付割合	主要産地	前年産の順位	前年産作付割合比
1	コシヒカリ	35.9	新潟、茨城、福島	1	-0.2
2	ひとめぼれ	9.4	宮城、岩手、福島	2	-0.3
3	ヒノヒカリ	8.7	大分、熊本、鹿児島	3	-0.3
4	あきたこまち	6.8	秋田、岩手、茨城	4	-0.4
5	ななつぼし	3.5	北海道	5	+0.1
6	はえぬき	2.7	山形	6	-0.1
7	キヌヒカリ	2.6	滋賀、兵庫、埼玉	7	-0.1
8	まっしぐら	1.9	青森	8	0.0
9	あさひの夢	1.6	栃木、群馬	9	0.0
10	ゆめぴりか	1.6	北海道	11	+0.2
上位10品種の合計		74.7			
11	こしいぶき	1.4	新潟	10	-0.1
12	きぬむすめ	1.0	島根、岡山、鳥取	12	-0.1
13	つや姫	1.0	山形、宮城	17	+0.2
14	夢つくし	0.9	福岡	14	-0.1
15	あいちのかおり	0.9	愛知	16	0.0
16	つがるロマン	0.9	青森	13	-0.1
17	彩のかがやき	0.7	埼玉	18	+0.1
18	きらら397	0.7	北海道	15	-0.2
19	ふさこがね	0.6	千葉	20	0.0
20	ハナエチゼン	0.5	福井	21	-0.1
上位20品種の合計		83.3			

注) 1 うるち米作付面積全体に占める割合。

注) 2 来年3月公表予定の「平成28年産水稻の品種別作付動向」（確定版）においては、順位、作付割合等が変動する場合があります。